

## 研究課題：冠動脈バイパス術後患者に対する冠動脈インターベンションとその予後に関する観察研究に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2005 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日の期間中に当院で心臓カテーテル治療を受けた方のうち冠動脈バイパス術の既往がある方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

心血管病、特に冠動脈疾患は本邦の主要な死因の一つです。近年その治療としての経皮的冠動脈インターベンション(PCI)は著しく発展し、その長期的な安全性、有効性も確立されて来ました。しかしながら、治療に難渋する要因も未だ多く残されています。その一つとして冠動脈バイパス術後の PCI は、バイパスグラフトの存在により、通常より複雑な治療を要することが多くなります。しかしながら、その実臨床を反映した詳細については十分に明らかにされていないのが現状です。本研究の目的は、実際の臨床現場において、冠動脈バイパス術後の PCI の実情やその臨床的予後などを明らかにすることであり、その結果により今後のより良い治療戦略につながる可能性もあり、本研究は有用なものになると考えられます。

本研究の方法は、研究の対象となる患者さんの、背景、病歴、診断、カテーテル治療の手技詳細、病変の特徴、ならびに心血管イベントなどの情報を後向きにカルテ情報から収集します。その上で、長期予後とその関連因子などを調査します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料: 使用しない

情報: 病歴、治療歴、検査歴 等

### 4. 外部への試料・情報の提供

研究に用いる情報に関しては当院において厳重に保管・管理を行います。研究対象者の個人情報連結表を作成した上で匿名化を行います。対象者を特定するための連結表に関しては、個人情報管理者が厳重に管理します。個人が特定されるような情報が外部へ提供される事はありません。

### 5. 研究組織

主施設:

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 室原豊明

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科学 石井秀樹

名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 田中哲人

名古屋大学医学部附属病院 循環器内科 田代詳

共同研究施設：

安城更生病院 循環器内科 竹本憲二

一宮市民病院 循環器内科 志水清和

大垣市民病院 循環器内科 森島逸郎

公立陶生病院 循環器内科 浅野博

江南厚生病院 循環器内科 高田康信

豊田厚生病院 循環器内科 篠田政典

岡崎市民病院 循環器内科 田中寿和

岐阜県総合医療センター 循環器内科 野田俊之

名古屋第二赤十字病院 循環器内科 吉田幸彦

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、学会発表や論文出版の後ではお申し出の情報を除去できない事があります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

施設研究責任者：豊田厚生病院 循環器内科 CCU 部長 大橋 大器

〒470-0396 豊田市浄水町伊保原 500-1

電話：0565-43-5000（代表）

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科

教授 室原豊明